



～子どもも大人も一緒に学校づくり地域づくり～

はたえっこ

糸島市立波多江小学校学校通信  
令和6年度第2号 文責 校長 重富 泰敏  
令和6年4月19日

## 本校の「不登校支援」に関する取組について

令和6年3月に福岡県教育委員会が「福岡県不登校児童生徒支援リーフレット～多様で適切な教育機会の確保による社会的な自立を目指して～」が出版されています。

これは、文部科学省が平成29年4月4日付で通知した「義務教育の段階における普通教育に相当する機会確保等に関する指針」を受けて、その取組の一環として作成されました。このリーフレットには、福岡県内公立小・中学校における不登校の子どもが毎年増加していることや、子どもたちへの教育の機会を確保していくことが課題になっていると記されています。

リーフレットには、「不登校児童生徒」とは？とあります。

不登校とは→年度の間に30日以上の登校しなかった児童生徒のうち、「何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にある者」と定義されています。

不登校は決して問題行動ではなく、取り巻く環境によっては、どの子にも起こりうることで捉える必要があり、多様な要因や背景の結果として不登校状態になっているということです。不登校児童生徒が悪いという偏見を払拭し、学校・家庭・地域が共感的理解と受容の姿勢をもつことが大切だと考えます。

波多江小学校でも、担当の指導員が市から配置され、児童支援加配教員や養護教諭等、不登校支援委員会を組織して、学校全体で支援に取り組んでいます。

### 【波多江小での取組例】

- ・ 毎日子ども達全員の欠席や遅刻の等の丁寧な確認
- ・ 2日間お休みしたときの「早め」「丁寧」家庭への連絡と見通しの共有
- ・ 学校での「居場所」について、保護者や子どもとの相談や確認
- ・ 担当指導員や児童支援担当教員による家庭訪問
- ・ 不登校支援委員会（毎月1回）やケース会議を開催しての組織的な取組
- ・ 糸島市教育支援センター、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等様々な専門機関との、相談・協働・連携
- ・ 保護者との連絡、面談、確認や見通しづくり

お子様の様子で、心配なことや不安なこと等ありましたら、学校（担任や支援加配、養護教諭等）に必ず御相談ください。お子様の状況や今後の見通しづくりに向けて、様々な方法について、相談しながら進めていきたいと考えています。

一緒に相談することで、学校で大切にすることや家で大切にすることについての協働・連携、見通しや展望にもつながっていくと考えます。

学校（担任や担当等）からも、お子様の学校での状況や、御家庭での様子について、連絡をさせていただきます。

学校・家庭・地域で相談し合い、協働・連携し合い、つながって進んでいきたいと考えています。御心配をおかけする点もあるかとは思いますが、お互いのコミュニケーションを大切にして乗り越えていきたいと考えています。よろしくお願いします。

## お知らせとお詫び

前回配付した「はたえっこ」（担任等の紹介）で記載できていない職員がありました。お詫びして、次号で掲載させていただきます。次号は、本校の「いじめ対策」に関する取組について紹介させていただきます。

## 入学式～かわいい107名の仲間入り！

4月11日（木）本校第134回入学式が無事に挙行できました。

107名のかわいい新入生を加え、波多江小学校は701名でスタートしていきます。

入学式準備では、在校生一人ひとりがそうじ等、新1年生を迎える準備をしてくれました。特に6年生の姿が大変素晴らしかったです。会場のセッティングや1年生を迎える練習等、6年生として精一杯がんばってくれました！これから全学年そろっての学校生活が始まっていきます。トラブルやアクシデントが起きることもありますが、6年生が上手に関わってくれて、下級生にとっての素敵な成長モデルになってくれることを期待しています。

入学式当日は、お忙しい中たくさんの御来賓の皆様にご来賓の皆様に1年生の入学を祝福していただきました。誠にありがとうございました。



## まずは！登下校の安全を！～学校・地域連携～

4月6日（土）～4月15日（月）は「春の交通安全県民運動」期間でした。

4月11日の入学式でも糸島警察署からの啓発活動（チラシ配布と説明）がありました。

4月と5月は小学生の交通事故が増加する時期です。4月は、小学1年生（6～7歳）が、新たに交通社会に参加しますが、道路上の危険についての知識が未熟です。また、子どもの視野は大人が考えている以上に狭く、周囲が見えていないものです。（県民運動リーフレットより）

- 大人が交通安全のお手本を示しましょう。
- 子どものとっさの動き（飛び出し）に注意しましょう。
- 交通安全について繰り返し教えましょう。
- 指導の際は「車に気をつけて」ではなく「道路を渡る前に絶対に止まって、車が来ていないことを確認して、手をあげて渡る」など、子どもが理解しやすい指導をしましょう。



合い言葉は「とまる」→「見る」→「待つ」です。

みんなで声をかけ合って安全・安心の波多江校区にしていきたいと思います。

※波多江校区では、「糸島市人権・同和教育推進協議会波多江支部」の皆様や、「交通安全協会波多江支部」の皆様の協力をいただき、朝の子どもたちのあいさつ、声かけ、登下校の安全確保等の御指導をいただいております。また、PTA・保護者の皆様方や糸島警察署波多江交番、地域青パトの皆様のご協力をいただき、交差点の見守りや校区の巡回をしていただいております。おかげで子どもたちが安心して登下校できています。

